

受領する請求書の電子化からスタートし、 グループ全体の「デジタル経営」を見据えた経理業務の改革を実現

株式会社西武ホールディングス



ペーパーレスを推進してESG経営に貢献

グループ全体で「デジタル経営」を推進する西武グループは、2019年から会計システムを刷新してきた。先行導入されたERPパッケージと連携させる形で活用を進めているのが、ウイングアーク1stの請求書などの帳票類の送受信から管理までを一括で行うソリューション「invoiceAgent TransPrint」だ。大量に受領する請求書の電子化をスムーズにして作業を効率化するとともに、ESG経営を進める観点でグループ各社への展開を進めている。

写真左から：経理部 課長補佐 金國 善治氏、経理部 主任 中村 玲氏、経理部 主任 浅野 雅明氏

Summary

概要



課題

- 「デジタル経営」実現のための業務改革の根幹としてペーパーレス化が急務に
- 業務効率化・法対応の観点から、請求書の電子受領と電子のまままで開封・保存する業務プロセス確立が必要に



解決策

- invoiceAgent TransPrintによって、取引先からの請求書受領を電子化
- 先行導入されていたERPパッケージと柔軟に連携



効果

- 会計起票の証拠書類の電子化を社内標準としてグループ23社に展開
- ペーパーレス化によりデジタル経営を推進

あらゆる企業間取引文書の電子化と配信・返信ができる電子取引プラットフォーム。
取引に紐づく文書の一元管理や法対応も可能。



請求書のペーパーレス化で業務効率化を叶える

西武グループは、業務効率化に向けてデジタル経営を推進している。そうした中で経理部門は会計システムの刷新に取り組むため、NTTデータ・BizインテグラルのERPパッケージ「Biz J」を導入し、グループ全体の業務効率化を目指してきた。しかし、請求書のペーパーレス化は先送りとなっていた。

変化が訪れたのは新型コロナウイルスの流行だった。金國氏は「テレワークの推進で紙を起点とした業務フローの見直しが必要となりました」と振り返る。

西武グループではシステムが持つ機能をそのまま活用する方針を示しているため、請求書の電子化には「Biz J」と組み合わせて利用することが条件だった。この方針に沿う形でNTTデータから紹介されたのが、ウイングアーク1stの「invoiceAgent TransPrint」だ。システムに

手を加えずに取引文書の電子化やオンラインで配信・受領できる点に惹かれた。取引文書の一元管理やインボイス制度・電子帳簿保存法に対応できる点も大きなポイントとなった。

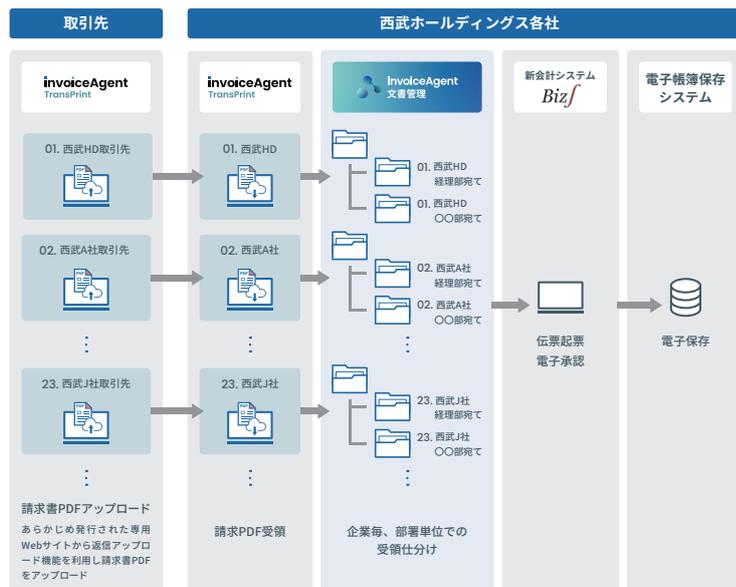
ただ、決め手となったのは導入プロセスが簡単な点にあった。当初、優先的に取り組もうとしていたのが、電子化された請求書を受け取り、電子のままで開封・保存する一連の業務プロセスの構築にあった。ただし、電子化には取引先からの協力が必要となる。invoiceAgent TransPrintは取引先からPDF形式で請求書がもらえればそのまま受領できるため、協力が得やすい点を評価した。西武グループでは、電子帳簿保存ソリューションも導入し、目標を達成できた。

こうして導入されたinvoiceAgent TransPrintについて、西武ホールディングスは2021年8月から自社と取引先で先行利用を開始。ウイング

アーク1stは導入前からWebミーティングを開催したり、運用上の相談に対応したりして実運用に向けた準備をサポートした。

こうして基礎固めができ、2021年12月にInvoiceAgent TransPrintのグループ展開を開始。2022年4月時点で利用可能なグループ会社は23社に達した。さらに電子化を推進するため、2022年2月にはグループ会社間の請求書授受をinvoiceAgent文書管理で行う仕組みの運用も開始した。金國氏は、「最終的な目標は企業間で授受する紙をなくすことです。実現するためにInvoiceAgent TransPrintをさらに活用します」と今後もデジタル経営に取り組んでいく考えだ。

請求書の電子受領で業務効率化やペーパーレスに貢献



Seibu Group

でかける人を、ほほえむ人へ。

株式会社西武ホールディングス

設立 : 2006年2月
所在地 : 東京都豊島区
URL : <https://www.seibuholdings.co.jp/>

東京都北西部及び埼玉県南西部にて12路線を運営する西武鉄道を中心とした都市交通・沿線事業、プリンスホテルブランドで国内最大級のホテルチェーンを展開するホテル・レジャー事業、さらに西武鉄道沿線内外の商業施設や賃貸オフィスを運営する不動産事業など、生活のあらゆる場面でお客様を応援する事業を展開。また、東京23区の46万㎡を含め、全国に1億3600万㎡以上の豊富な不動産を保有しており、2016年7月に開業した「東京ガーデンテラス紀尾井町」や2019年4月に開業した「ダイヤゲート池袋」、所沢駅周辺の開発など、保有資産の潜在的な収益力を実現させるプロジェクトを持続的に実施している。

サイト内でより詳しくご紹介しております。

<https://www.wingarc.com/product/usecase/596.html>

